

1 校章について

新生王子特別支援学校の母体校である王子特別支援学校と王子第二特別支援学校との間にメタセコイアが植えられている。和名は「アケボノスギ」と言う。「曙」は「夜明け」や「新しく事態が展開しようとする時」を示し、新しい学校にふさわしい。

さらに、メタセコイアは、まっすぐ、高く成長する樹木である。本校に通う児童・生徒も、まっすぐ、高く成長してほしいという願いを込め、両校が一つになるためのシンボルとして校章のデザインに取り入れた。

3つのメタセコイアの葉が中央でつながっていることで、本校が「小学部」「中学部」「高等部」の3つの学部が一体となっていることを示している。

そして、世界に羽ばたくイメージを羽根で表現するとともに、メタセコイアと羽根をスクールカラーである「臙脂」「紺碧」「萌黄」をイメージする赤・青・緑で表現している。

また、紋章の形とローマ字を使うことで、様々な国の人にも校章（エンブレム）であることがわかるようにしている。

（校章制定委員会 平成30年11月）



2 王子スクラムマークについて

力をあわせて前を向いて子供を支えていくために、王子スクラムマークを制定する。

メタセコイアの3本の木が手を取りあっているイメージを表現している。「子供と学校のスクラム」「保護者と学校のスクラム」「地域と学校のスクラム」「3つの学部のスクラム」などを意味するものである。

○シンボルマークの活用事例

- (1) 小学部の体育着の胸部のプリント
- (2) 学校だより
- (3) 学校行事等での使用
- (4) その他、一つになって「頑張る姿」を表現したい場面

